



ハイブリッドIT管理

デジタルトランスフォーメーションの基盤

An IDC InfoBrief, *Sponsored by Micro Focus* | **April 2020**

By Stephen Elliot, Program Vice President, I&O and DevOps

企業はデジタルトランスフォーメーションジャーニーの途上にある

IDCでは、デジタルトランスフォーメーション (DX) は、次の3段階のフェーズから成り立つと考えている。



新しいテクノロジーと
デリバリーモデル



プラットフォームと
コミュニティ



自律型システム

2020年末までに、DXを積極的に推し進め「統一した戦略の下で取り組んでいる」組織 (Digitally Determined) の割合は55%以上になる。

IDCでは、世界的な進展から見て、現在は第1フェーズから第2フェーズへの移行期であるとも考えている。

2018年の調査結果 (IDC Global DX Leaders Study-2018年6月) :

46% DXに「統一した戦略の下で取り組んでいる」組織 (Digitally Determined) の割合

54% DXに出遅れ「統一された戦略と取り組みが見られない」組織 (Digitally Distraught) の割合

IDCの調査が示すその他の結果:

42% (DXへの支出が) IT予算の中から実施される企業の割合

28% (DXへの支出が) LOB (Line of Business) に直接割り当てられる企業の割合

30% DXのための専用の予算 (DX予算) を持つ企業の割合

DXジャーニーで重視すべき 4つの領域

- ▶ **ハイブリッドIT管理**は、ハイブリッド環境の管理の複雑性を軽減し、顧客エクスペリエンスを向上させる。
- ▶ エンタープライズDevOpsの作業スピード向上は、プロセス自動化や、開発と運用の間のチーム連携によって実現される。厳しい経済環境にあるとき、あるいはCOVID-19が世界的に感染拡大する今こそ、ビジネスやITのプロセスを自動化し、最適化するソリューションは、より短期間により広い分野で採用されるようになる。エグゼクティブはこの機会を逃さず、ツールやプロセスの複雑さを削減し、不測の未来に備えて企業文化や運用モデルをどのように変えるべきか真剣に検討する必要がある。
- ▶ セキュリティ/リスク/ガバナンスは、組み込まれたセキュリティメカニズムを通じてコンプライアンスの改善を図り、セキュリティを変革する。
- ▶ 予測的アナリティクスは、大規模なデータプールに渡る機械学習 (Machine Learning: ML) やAI (Artificial Intelligence:人工知能) を使用し、リアルタイムに近いスピードで知見 (インサイト) を提示する。

ハイブリッドIT管理は、IT運用の迅速な遂行を阻むサービスデリバリーの課題に対処する

現在のハイブリッドITインフラストラクチャは、過去数十年に及ぶ進化の結晶である。

- › 従来型オンプレミス・インフラストラクチャ
- › オンプレミス・プライベートクラウド
- › コンテナ
- › モダン (最新) アプリケーション
- › パブリッククラウド

ITサービスに必要な管理についてのこれまでのやり方は、ビジネスの期待に沿っておらず、サイロ化しているため、限界がある。

ITの組織構造や過去の経緯が反映された慣習などは、ITサービスのデリバリー能力を最大化する上で、しばしば阻害要因となる。

これらの課題は、データプールやツールの断片化、原因分析の非効率化、システム障害につながるイベントの多発、対応の遅いチーム、エンドツーエンドに渡るサービス状況把握の困難さ、などにつながっている。

何が必要なのか？

- › ビジネスとITユーザーの両方を対象としたセルフサービスの自動化を通じたサービスマネジメント
- › 任意のクラウド上にサービスを迅速かつ正確に展開するサービスフルフィルメント (履行)
- › AIOpsによる予防的な異常検出や自動修復によるサービスアシュアランス (保証)
- › 一貫したコンプライアンス対応を維持するサービスガバナンス
- › ただし、問題は多様化する

管理ツールの断片化や マルチクラウドのサイロ化による 複雑化と可視性の低下

マルチクラウド化とは、複数のサイロやチームの乱立を意味し、断片化した管理ツールによって複雑性が増し、サービスの可視性が低下すること。

つまり、今日においては、サービスマネジメント、サービスアシュアランス（保証）、サービスフルフィルメント（履行）、サービスガバナンスの重要度が、いっそう高まっている。

- › ビジネスやITチームに対し、直感的で取り扱いが容易なセルフサービスを提供する。
- › エンドツーエンドに渡るサービスの可視化を進め、データ運用に自動化とAIを適用する。
- › エンタープライズDevOpsチームが、適切なデプロイメントモデルを使用できるようにする。
- › サービスガバナンスを提供し、一貫性のあるプロビジョニング、パッチ適用、バックアップ、コスト管理を実施する。

アナリティクスが、IT運用管理 (ITOM) の スケール拡大を実現

- ▶ AIOpsは、ダウンタイム削減やITコスト抑制を通じて、サービスデリバリーチェーン全体の価値を向上させる。
- ▶ AIOpsを適用し、プロアクティブな異常検出や自動修復を行うことで、計画外のダウンタイムを防ぐことができる。
- ▶ AIOpsによる相関付けや自動修復で、より迅速に健全な状態に戻すことができる。
- ▶ システムは、アナリティクス用の共通データレイクを通じ、迅速に学習し、より優れた意思決定を支援する。

デプロイメントサイクルの高速化に伴い、 IT運用チームは、開発チームとの 協調や標準化を推進しなければならない

協調を推進するもの：

- › サービスカタログのセルフサービスインターフェースの提供
- › プロセスを統合し、ガバナンスコントロールポイントを組み入れることで、標準化を促進

ITエグゼクティブは、 なぜハイブリッドIT管理に投資すべきか？

エグゼクティブがハイブリッドIT管理を 展開する最大の理由：

- ▶ ITサービス利用時の障害要因や課題を軽減するため
- ▶ DevOpsからの要求を満たし、最適かつ継続的なセルフサービスのデプロイメントを実施するため
- ▶ すべてのオンプレミスリソースとクラウドリソースに渡る統一的な可視性を実現し、問題や解決策を明確にするため
- ▶ すべての環境に対して、一貫したセキュリティ/コンプライアンスポリシーを確実に展開するため

サービスアシュアランス（保証）、サービスマネジメント、サービスフルフィルメント（履行）、サービスガバナンスのすべてに渡る、顧客を中心に据えたイノベーションの実現

マイクロフォーカスは、以下を通じて、顧客のハイブリッドIT管理を支援できる。

- › エンタープライズDevOpsの加速
- › 運用やビジネスに関する知見（インサイト）の提供
- › セキュリティとガバナンスの強化

意思決定者へのアドバイス

- ▶ マイクロフォーカスは、エンタープライズDevOps、ハイブリッドIT管理、セキュリティ/リスク/ガバナンスに対応した製品を提供している。
- ▶ 予測的アナリティクスに関して、マイクロフォーカスのプラットフォーム上に他のプラットフォームを統合した際に、そのツールの有効性を知ろうとするのは当然である。つまり、他のツールと一緒に利用しても問題ないことを確認すべきである。
- ▶ 統合については、マイクロフォーカスのポートフォリオだけでなくサードパーティソリューションも対象にしていることを確認すべきである。

ハイブリッドIT管理導入の好機

- ▶ 効果的なサービスマネジメントによって、ITサービスを利用する上での阻害要因や課題を軽減する。
- ▶ ビジネスとITチームに対し、直感的で容易なセルフサービスを提供する。
- ▶ エンドツーエンドに渡るサービスの可視化、AIOpsや自動化の適用を可能にするサービスアシュアランス（保証）によって、問題や解決策を明確化する。
- ▶ サービスフルフィルメント（履行）によって、DevOpsのスピードでサービス需要を満たし、DevOpsチームが適切なデプロイメントモデルを使用できるようにする。
- ▶ ITに対するガバナンスの強化を図るため、一貫したパッチ配備、バックアップ、コスト管理といったサービスガバナンスを適用する。



スポンサーからのメッセージ

マイクロフォーカスでは、成果を出す最も速く確実な手段は、すでにうまくいっている仕組みを土台にして完成させることであると考えています。各企業は、自社独自のツールセットを作成していますが、冗長あるいは脆弱な部分があるかもしれません。マイクロフォーカスは、実績あるエンタープライズクラスのIT管理ソリューション一式を設計しています。これらのソリューションは、レガシーツールやクラウドツールとの統合や併用によって、ハイブリッドIT環境を管理することで生じる複雑性を軽減できます。

ITの複雑性を軽減する進め方には、一つとして同じものはなく、マイクロフォーカスは各社固有のニーズに対応できる規模と柔軟性を有しています。貴社がデジタルビジネスにおいて全面的に成功できるよう、マイクロフォーカスが貴社チームとの協働によって、複雑性を軽減しつつITチームをサービス駆動型組織に変革するためにどのような支援ができるかについて、話し合しましょう。

詳細に関しては、<https://www.microfocus.com/ja-jp/trend/hybrid-it-management> をご覧ください。

